



都市型コミュニティ農園

cotton

なかせんば

Two Year Report

令和6年度農山漁村振興交付金 採択事業

What's "coton Nakasemba"

「coton なかせんば」ってどんな場所？

“coton なかせんば”は、大阪の都心部に位置する、みんなでもに作り育てるコミュニティ農園です。

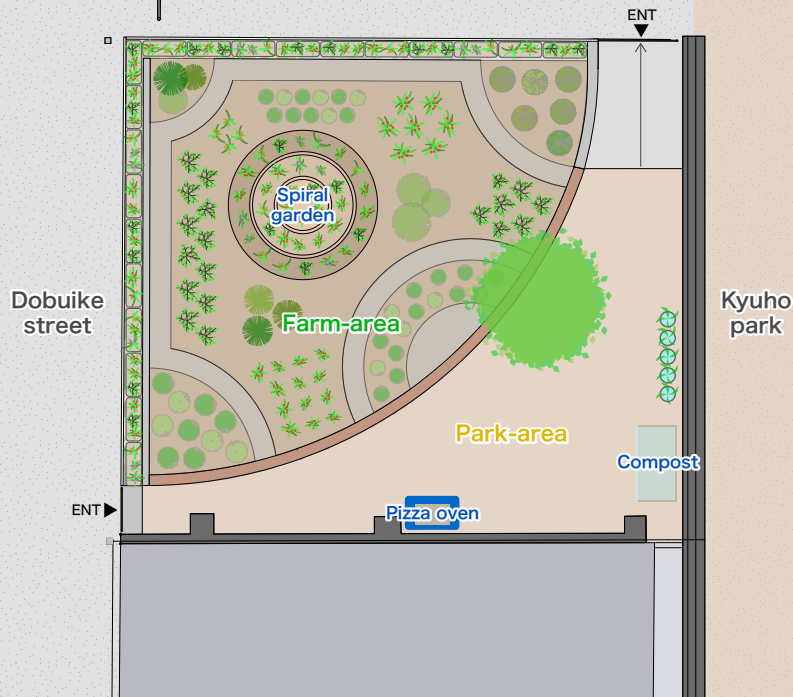
未完成でたくさん余白のある“coton なかせんば”。一年を通して子どもから大人まで一緒に汗を流して学びあえる機会を作っていきます。

都市の中で自然と直に触れ合い、季節のリズムを感じる事が
中船場界隈に住まう人・働く人
・まちに関心のある人にとっての
憩いや楽しみにつながればうれしいです。

“coton なかせんば”は「農」と「食」をきっかけに人と自然、人と人との“えん”を紡ぎ、みなさんの暮らしに新たな出会いと次への一歩が生まれることを願っています。

“coton なかせんば” 平面図

大阪府大阪市中央区北久宝寺町3丁目
久宝公園の西隣



“coton Nakasemba” members

事業主体

辰野株式会社

1. 岡本浩典
2. 高瀬洋平
3. 大西愛美

販売流通

合同会社ノコノコ

4. 中川美陽子

外構・什器設計

株式会社 STUDIO_C

5. 安田康佑

野菜づくり指導

体験農園“あじわい”

6. 上田智史



顧問

東京大学准教授

7. 新保奈穂美

顧問

公益財団法人地球環境
戦略研究機関 (IGES)

8. 渡部厚志

仕組みづくり

一般社団法人

あわい環境デザイン

9. 正垣律子

農園づくり

大阪造園土木株式会社

10. 山本義則

11. 安達愛

11人の専門家検討会メンバーを中心に
視察3回、WS5回、検討会議4回を経て、“coton なかせんば”は完成しました！

user's voice

coton なかせんばができる“まえ”

- ・都市部に農園ができて農業が身近になって、食に対する意識が高まればいいなと思います。(40代女性)
- ・どのようにすれば継続的に関われるか知りたい。子どもによい学びの場となると思うので積極的に関わりたい。(50代女性)
- ・こんな都市のど真ん中の地上に、どんな農園ができて作物が実るのか、姿を見るのがとても楽しみです。(50代男性)
- ・住んでいる場所で土に触れる生活が理想です。地域での食料自給率が少しでも上がればと思う。(40代女性)
- ・定期開催で有機、無農薬野菜の関心が高まる様なマルシェなどがあればいいなと思いました。(30代男性)
- ・農園体験、収穫イベントがあれば参加してみたい。(30代女性)
- ・街中で農園の土地を確保するのがとても難しい中、このように都会の子も農業を身近に感じ、土を感じられる場所があるのがとても嬉しい。(40代女性)

coton なかせんばができた“あと”

- ・子供が水やりが、好きで近くを通るとジョウロめがけて走るようになりました。お野菜の収穫イベントもとても楽しいです！(30代女性)
- ・農園が出来たことで癒し効果抜群です。(40代女性)
- ・仕事の合間で一息つかせて貰っています。(40代男性)
- ・収穫前の野菜を見ることが少ない子どもたちが農園を見る機会を作っていただき感謝しております。今後も季節の野菜や植物を見せていただきたいです。(40代女性)
- ・子どもが収穫体験をできたり、私自身も緑の少ないこの土地で自然に触れ合う機会を頂けて嬉しく思っております。(40代女性)
- ・地域の憩いの場になればいいかなと思います。(50代男性)
- ・自分たちでも都市の緑化について考える機会が多いので、これからは参加出来ると嬉しいです。(50代女性)

> 近隣保育園との連携



れもんのこ南本町保育園

都会ではなかなかできない農業体験をさせていただき、子どもたちにとって貴重な学びの機会となりました。いただいた野菜を給食で食べたり、食への関心も高まりました。



御堂筋本町 ちどり保育園

毎日通う公園の横の農園は、子どもたちにとっても先生たちにとっても、とても身近でワクワクがいっぱいな、宝の農園です。様々な野菜やお米の栽培は最高です。



マザーシップ船場保育園

これまでビルの屋上で栽培活動をしてきましたが、敷地の一部を借り野菜の栽培ができました。みんながお散歩に行く久宝公園の近くなので、年長だけでなく、2・3歳児クラスも参加でき、食育につながりました。



Kid's&More 南本町保育園

ビルに囲まれた都市の中にありながら、coton さんとの交流を通して、畑での収穫など自然とつながる体験が子どもたちの好奇心と感性を育てています。

地域ミーティング vol.1

- 01: CITY FARM CLUB
- 02: 平野コープ農園
- 03: いちばたけ

農園視察

兵庫県内の都市農園（3カ所）を検討メンバーで視察しました。



「Bioneer」「チェーリングファーム」「きずな農園」「ご近所ともわくわくふれあい農園」などのアイデアが出ました！！

農園視察

愛知県内の都市農園（2カ所）を検討メンバーで視察しました。

- 01: ぼかぼか自然農園
- 02: ワールド・スマイル・ガーデン

近隣にお住まいの方やお勤めの方、都市農園に関心のある方（総勢41名）による、ワークショップを開催。新保先生の講演の後はグループワークを行い、新しい農園のコンセプトや名称をみんなで考えました。

2024

05
24

06
05

06
11

07
28

09
25

09
28

10
07

農林水産省 農山漁村 振興交付金 事業採択



メンバー全員が初めて一堂に揃っての検討会。お互いの得意分野やスケジュールを共有し、都市農園の目指す姿について議論しました。

専門家検討会

地域ミーティング vol.2

大阪船場といえば、やっぱり『織維』のまち。coton なかせんばでは綿花も育てています！



2回目の地域ミーティングは平日夕方からの体験型ワークショップ。仕事帰りに綿紡ぎの体験をしてもらいました。

ミニマルシェ



久宝公園の花火イベントと共催で農園予定地にてマルシェを開催。隣家の壁を使って映画上映も行いました。

ミニマルシェ



野菜の販売ほか5店舗が出店するミニマルシェを農園予定地にて実施しました。



11
09 11
14

地域ミーティング vol.5



完成間近の農園で、レンガを並べたり、畝を作ったり、仕上げ作業をみんなで行いました。



01
19 03
15

農園イベント vol.01～開園式～



ついに、『coton なかせんば』が開園！参加してくれたたくさんの子供達と一緒に鍬入れ式を行い、早速春野菜の苗植えを行いました！隣接する駐車場ではマルシェも開催され、大賑わいでした！



03
30



04
26

地域ミーティング vol.3



大人17人
子ども3人
が参加しました！

検討会メンバーの一人でもある上田さんが運営する「体験農園あじわい」で落花生の収穫体験をしました。

地域ミーティング vol.4



検討会メンバーで建築家のSTUDIO_C 安田さんコーディネートのもと、みんなの想いを農園の平面図に反映し、アイデアを具体化していきました。



coton なかせんばの目玉である「スパイラルガーデン」のアイデアはこの時に生まれました！

農園イベント vol.02



検討会メンバーで野菜博士の山本さんの指導のもと、夏野菜の植え付けを行いました。

地域ミーティング vol.6



検討メンバー山本さんの指導のもと、ミントの挿し芽WSを行いました。作業後は摘み取ったミントを使ったミントウォーターを飲みながら、農園の利用方法について意見交換を行いました。

農園イベント vol.03 coton 夜会



coton なかせんば初めての夜のイベント『coton 夜会』を行いました。夕方夏野菜の収穫を行なったあとは、夜の農園でパーティーを行いました。

飛び入り参加もありながら、60人以上の人が集まりました！

農園イベント vol.04



地域ミーティングの後は、メンバー限定イベントとして、芋煮会を行いました。この日は農園内で焚き火も行いました。

2025

05
31

06
28

08
29

09
13

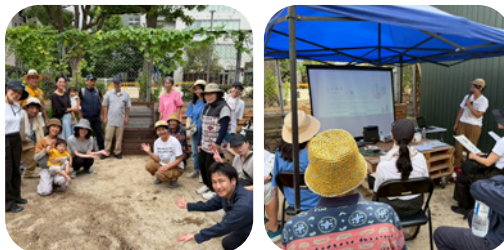
11
30

勉強会 vol.1



パーマカルチャーデザイナーの福田洋平さんを講師に迎え、coton なかせんばの主役である『スパイラルガーデン』を作りました。勉強会では、人と自然が共生するためのデザイン手法であるパーマカルチャーについても学びました。

勉強会 vol.2



キエーロオフィシャル認定アドバイザーの上野綾香さんをお招きし、土中の微生物の力で生ゴミを分解するコンポストである『キエーロ』を作り、仕組みについても学びました。

地域ミーティング vol.07



スタートして半年が経過した中で、利用者の方のリアルな意見を伺いました。

自立の実証実験 vol.01



自立に向けた実証実験として、親子料理教室とクリスマス会を実施しました。

シンポジウム



「まちに農のある風景を一都市農園が作る、つながりと可能性」と題して、都市農園に関するシンポジウムを開催し、5名の方に登壇いただきました。



<登壇者>

- 01: 横井 修司氏 (大阪公立大学大学院農学研究科 教授)
- 02: 新保 奈穂美氏 (東京大学 空間情報科学研究センター 准教授)
- 03: 平和不動産 (株) 山中 真之氏 「Edible Kayabaen」
- 04: (一社) グッドラック 金田 康孝氏 「みんなのうえん」
- 05: 辰野 (株) 大西 愛美 「coton なかせんば」

<プログラム>

- 第一部：基調講演
横井 修司氏
「都市農業のいまとこれから」
- 第二部：事例紹介
パネルディスカッション
新保 奈穂美氏
「Edible Kayabaen / みんなのうえん / coton なかせんば」
- 「都市農園がつくる繋がり」

▶会場 / オンライン合わせて約100名が参加

12
18

2026

01
17

02
06

02
14

02
28

農園イベント vol.05



防災士の中村菜穂さんをお招きして、食と防災に関するワークショップを行い、都市に農園があることの新たな価値について学びました。



自立の実証実験 vol.02



自立に向けた実証実験として、移動ピザ釜屋さんを営む『PIZZA HARUICHI』さんをお招きし、ピザ窯を作って、みんなでピザを焼いて楽しむ、予約制の有料イベントを開催しました。



地域ミーティング vol.08



利用者さんとミーティングを行い、来年度以降の運営方式について議論しました。

urban farming partners ～視察にご協力いただいたみなさん～

わくわく都市農園小金井

運営：一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会

住所：東京都小金井市本町 2-8-6



せせらぎ農園

運営：一般社団法人 TUKURU

場所：東京都日野市新井 1 丁目



みみコン eco 畑

運営：株式会社スタービジョン

場所：東京都小金井市桜町 2 丁目 7



体験農園 あじわい

運営：上田農園

場所：大阪府大阪市住吉区大領 4 丁目 2



みんなのうえん北加賀屋

運営：一般社団法人グッドラック

場所：大阪府大阪市住之江区北加賀屋 5-2-29



いくのパーク (いく PA の農園～ぐるぐる～)

運営：NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと

場所：大阪府大阪市生野区桃谷 5 丁目 5-37



urban farming partners ~視察にご協力いただいたみなさん~

Edible KAYABAEN

運営：平和不動産株式会社

住所：東京都中央区日本橋茅場町 1-5-8 東京証券会館屋上



The Edible Park OTEMACHI by grow

運営：プランティオ株式会社

場所：東京都千代田区大手町 1 丁目 6-1 大手町ビル屋上 Sky LAB 内



たもんじ交流農園

運営：NPO 法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会

場所：東京都墨田区墨田 5-30-19



渋谷リバーストリートファーム

運営：NPO 法人アーバンファーマーズクラブ

場所：東京都渋谷区東 1 丁目 30



タマリバタケ

運営：NPO 法人 neomura、世田谷区（現在運営者は変更されています）

場所：東京都世田谷区上野毛 3-25

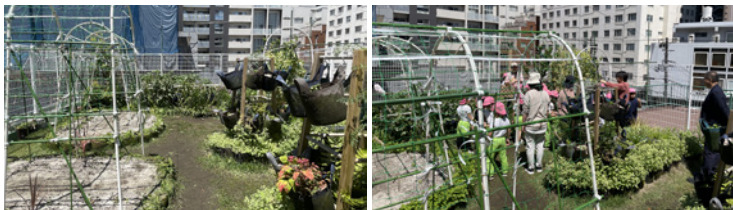


urban farming partners ～視察にご協力いただいたみなさん～

Urban City Farm OZ

運営：大阪造園土木株式会社

住所：大阪府大阪市北区堂山町 14-20



CITY FARM 芦屋

運営：株式会社緑青舎

住所：兵庫県芦屋市宮塚町 12-24



平野コープ農園

運営：地域団体 平野コープ

住所：兵庫県神戸市兵庫区平野町 350（平野展望公園内）



ワールド・スマイル・ガーデン（略称 ワールドデン）

運営：任意団体 ワールド・スマイル・ガーデンーツ木（刈谷市 市民協働課）

住所：愛知県刈谷市一ツ木町 4丁目 13 番地 1



ぽかぽかファーム／自然農園

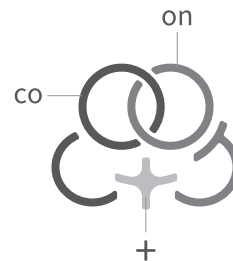
運営：株式会社ウィンパートナーズ（就労継続支援 B 型ぽかぽかワークス）

住所：愛知県名古屋市中川区元中野町 3-39、41



cotonのアルファベットを組み合わせ
綿花をデザインしました。

「O」の重なりは、輪(和)・循環・人と人など
さまざまなコトがつながっていくようすを表現しました。
農園の目指す姿、船場らしさを象徴するマークとなっています。



発行：辰野株式会社
デザイン：STUDIO_C
WEB：http://coton-farm.com



<本事業について>

令和6年度農山漁村振興交付金の採択を受ける事業です。大阪市中央区、都心のだ真ん中で露地栽培の農園運営に取り組んでいます。オフィス街という環境で農作物を如何に育てるかという挑戦だけでなく、運営の仕組みづくり、農園での活動を起点とした地域コミュニティの醸成、都市と農村の接点づくり、緑化に変わる都心部での新たな景観づくりなど、『都市農』をキーワードとして、様々な社会課題に取り組んでいます。